

# すくわくプログラム推進事業実践報告書 2025年7月

所在地	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

- お店屋さんごっこを体験しよう

<テーマの設定理由>

- 年長児が「お店屋さんごっこがやりたい」という発信が多く、ジュース屋さんや金魚すくいなど廃材を利用して作ったが、「お金はどうするのか？」などの疑問に、交通ICを利用できるようにおと絵アプリを使用した。

## 2. 活動スケジュール

- 年長児1クラス20名が参加。2階ホールで行う。
- 活動時間 40分

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- マイクロスコープ

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 年長児が考えたお店屋さんを利用して、SuicaやPASMOのようなカードを作成し、「こどもICカード」を作成してお客さんに配布した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- お店屋さんごっこで使用する、物や準備等を年長児が行った。朝からホールを開店して担任と子ども(年長児)が準備を行う。いろいろな廃材を利用して子どもが工夫し、考えながら準備をすることで、「これはここに置こう」「ここに〇〇はどう？」などアイデアを出しながら行った。
- 支払い方法などどうするか？などの声も上がっていたが、職員のマイクロスコープを使用して、交通機関(子どもICカード)を配り、スムーズに支払いできるように行うことができることを伝えると、子どもたちは嬉しそうな表情が見られた。
- お店屋さんが始まると、キッズタブレットの前にいる子や、商品を配る子、並ばせる子などさまざまな役割になりきって楽しんでいた。

活動が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- お店屋さんの中でも、キッズタブレットを使用して、支払い方法をどのようにしたらいいのか？お客さんにどのようにしたら喜んでもらえるのか？など、子どもたち一人ひとり考えられていた。職員も一緒に交通機関のようなものを一緒に行うことができ、列も並んでいたがタブレットがあることで、スムーズに支払いもできお店屋さんごっこを楽しんでいた。